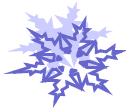


# ありがとう

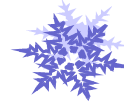
総社中央小学校だより



No14  
令和5年12月20日  
校長 藤本千登世



## 2学期もご協力ありがとうございました



あと2日で2学期が終わります。子ども達は、自分の目標や色々な行事に向かって努力を続け、一人一人が大きく成長できた2学期でした。具体的な様子については、終業式の日にお渡しします通知表でお知らせします。お子様をほめる材料にしていればと思います。

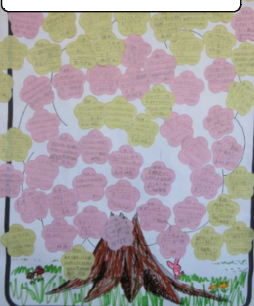
保護者、地域の皆様には、今学期も温かいご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。良い年をお迎えください。



おもちゃランドへ1年生をご招待(2年)

## 「すき」も「にがて」もありのままがいい

### 思いやりの木



11月27日～12月8日は総社中央小の人権週間でした。各クラスでの人権に関する目標づくりや本の読み聞かせ・思いやりの木(よい所見つけ)、全校児童での人権標語づくり等に取り組みました。

12月の品格教育の目標は「生命尊重」です。「自分も周りの人も大切にすること」とはどういうことか考えてほしいと考え、児童朝礼では絵本「すきなこと にがてなこと」(作:新井洋行)の読み聞かせをし、こんな話をしました。

「すきなこと」も「にがてなこと」も当たり前にあるのが、あなたであり、友達もそうなのです。3年生の詩の発表のように「みんな違ってみんないい」のです。よいところが一つもない人はいません。ダメな子なんて一人もいません。みんなすばらしいのです。

「生命尊重」とは、そんな自分や周りの人のよいところを認め、そしてみんなで支え合っていくことが大切なのです。友達のよいところを見つけたり、友達の苦手なことを分かってあげて、助け合ったりすることができる総社中央小のみなさんは、すてきです。「助け合う子」ですね。これからも「思いやりの木」に思いやりの花をいっぱい咲かせていきましょう。



## 「むかしこっぷり」(民話を聞く会)

今年度も12月7日に、学区(西村)にお住まいの立石憲利さんが、1・3・5年生に民話を語って下さいました。この「民話を聞く会」は本校で40年以上続いています。子ども達は、目を輝かせながら、立石さんの民話の世界に引き込まれていました。お話の最後は「むかしこっぷり」。この言葉が話の余韻を感じさせてくれるのです。

教員も立石さんの豊かな表現力を学ばせていただきました。立石さん、ありがとうございました。



日本民話の会会長  
立石憲利さん

## 4年ぶりの「わら竹細工の会」開催（インターネット検索「KTCわら竹」）

お飾りづくり



和楽会の12名の皆様にお世話になり、4年ぶりに「わら竹細工の会」を開催しました。この会は中央小学校が開校したときから、40年以上続く伝統的な行事です。5・6年生が、お飾り、紙鉄砲、竹とんぼ、お手玉、紙布細工の5グループに分かれ、作り方を教えていただきながら、約2時間、熱心に取り組みました。今の子ども達は、稲わらで正月飾りを作ったり、自分が手作りした物で遊んだりする経験が乏しいため、とても貴重な体験となりました。会



竹とんぼづくり

終了後、各教室で5・6年生との交流を楽しんでいたいただいた和楽会の皆様は「元気をもたらした」と大変喜んでおられました。地域の方や高齢者との交流をこれからも大切にしていきたいです。

## 2学期も自主学習がんばりました



自主学習ノートを6B さんが25冊、3A 15冊、4A さんが10冊、4A さんが、2C  
 さん・5A さんが20冊、6B さん・3A さん、3A さんが5冊終了しました。  
 さんが35冊、6A さん・ さん・ さんが  
 さん・4B さんが さん・ さん・ さん、2A  
 さん、3B

全員の自主学習ノートを見ましたが、自分の必要なことを考えて取り組める人が増えてきました。温かい声掛けをありがとうございます。冬休みも自学にLet's try!